

図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
9	開 隆 堂	図画工作
116	日 文	図画工作

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標・振り返りの示し方	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例
		②	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例
		③	材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	材料や用具の取扱い等の示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入の文の示し方と具体例
		⑤	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例
		⑥	身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い	鑑賞の対象と示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列	題材数, 構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫	作品や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想, 鑑賞の場面における言語活動の示し方, 具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 題材の目標・振り返りの示し方
方法	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例

	題材の目標・振り返りの表記の仕方	具体例
開 隆 堂	<p>○ 各題材の目標を、3種類のマーク「知識及び技能（形や色，方法や材料を知って，くふうする力）」、「思考力，判断力，表現力等（試したり，見つけたりして，考えたり，思いついたりする力）」、「学びに向かう力，人間性等（心を開いてたのしく活動し，友達とかかわり，協力し合う力）」と文で示し，特に重点的に育てたい力には，下線を引き，色を変えて示している。</p> <p>○ 重点的に育てたい力に対応した，児童が自己評価する際の手助けになる「ふりかえり」を文で示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 （ 下 ）
日 文	<p>○ 資質・能力の三つの柱に基づいて，3種類のマーク「知識及び技能（見つけたり，くふうしたりすること）」、「思考力，判断力，表現力等（感じたり，考えたりすること）」、「学びに向かう力，人間性等（活動の中で，楽しんですること）」と文で示している。</p> <p>○ 学びに向かう力，人間性等の涵養へとつなげるために，活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 （ 下 ）

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
方法	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例

	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	具体例	
開隆堂	○ キャラクター「くふうさん」と「ひらめきさん」が、〔共通事項〕を視点として思考させるコメントを示しているものがあり、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「のりのり おはながみで」 ちがう 形や 色の お花紙をかさねると、どんな かんじに なるのかな。
		鑑賞	第5・6学年〈上〉「比べてみよう」 どんなところを比べてみたのかな。かかれているものやこと、書き方、形、色…。
日 文	○ キャラクター「ちろたん」が、子供の活動と〔共通事項〕を結び付けるコメントを示し、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「ひかりの プレゼント」 ざいりょうを つんだり かさねたり すると、ひかりのかたちや いろも かわるね。
		鑑賞	第5・6学年〈上〉 「水から発見 ここきれい！」 水は、どんな形や色にも変わるんだね。どう組み合わせるといいかな。どこから見るときれいかな。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	材料や用具の取扱い等の示し方

	材料や用具の取扱い等の示し方
開隆堂	○ 題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上にマークと用具名や材料名を記して示している。 ○ 全ての学年において巻末に、「造形の引き出し」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 題材によって「安全」「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について、第1・2学年〈上・下〉は文で、第3・4学年〈上・下〉及び第5・6学年〈上・下〉は、写真やイラスト、文で示している。
日 文	○ 題材ごとに主に使用する用具について、ページ番号横にマークで示している。 ○ 全ての学年において巻末に、「使ってみよう材料と用具」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 題材によって「気をつけよう」、「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示している。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	導入の文の示し方と具体例

	導入の文の示し方	具体例	
開隆堂	○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。	造形遊び	第1・2学年〈上〉「いろいろ ならべて」 おなじかたちがいっぱい。すきないろはなあに？どんなふうになる？
		絵	第5・6学年〈下〉「墨から生まれる世界」 墨の黒と、紙の白。二つが出合って、世界が豊かに広がっていく。思いのままに墨でかいて、黒と白の世界を味わおう。
		立体	第1・2学年〈上〉「はこと はこを くみあわせて」 いろいろなものをつくることができるよ。
		工作	第3・4学年〈下〉「飛び出すハッピーカード」 開けてびっくり、飛び出すカード。もらってうれしくなるようなカードをつくって伝えよう。
		鑑賞	第3・4学年〈上〉「集めて、ならべてマイコレクション」 しぜんのものを集めて、形や色、手ざわりが気に入ったものを見つけよう。集めたざいりょうを空き箱にならべて、友だちとコレクションを見せ合おう。
日 文	○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している	造形遊び	第1・2学年〈上〉「ならべて ならべて」 みのまわりにあるざいりょうをならべてみよう。どんなことができそうかな。どんなかたちができるかな。
		絵	第5・6学年〈下〉「墨と水から広がる世界」 ぼたっと落ちた墨、すうっとにじんだ形。水と和紙に出合ったしゅん間に、墨が動き出す。気持ちのままに手を動かし、体のリズムに乗せてかいていこう。
		立体	第1・2学年〈上〉「はこで つくったよ」 いろいろなはこがあるね。どんなかたちやいろがあるのかな。どんなものがつくれそうかな。
		工作	第3・4学年〈下〉「カードでつたえる気持ち」 とび出す仕組みを使って、気持ちをつたえるカードをつくろう。だれに、どんな気持ちをつたえたいかな。どんな形でつたえようかな。
		鑑賞	第3・4学年〈上〉「み近なしぜんの形・色」 み近にある、葉や小石。見て、さわって、たしかめたら、どんな形や色が見つかるかな。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
方法	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例

	学年	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例
開 隆 堂	第1・2学年(下)	「へんしんしよう」 身近にあるものをつかって変身し、何に見えるかを互いに鑑賞し合う活動の次ページ「小さなびじゅつかん」には、鑑賞者が実際に手に触れ、体験できる作家の作品が掲載されている。
	第3・4学年(上)	「集めて、ならべてマイコレクション」 自然のものを集めて空き箱に並べ、友達とコレクションを見せ合う活動の次ページ「小さな美じゅつ館」には、児童の学習活動と同じように、様々なものを集めてつくられた、平面や立体の作家の作品が紹介されている。
日 文	第1・2学年(上)	「でこぼこ はっけん！」 紙粘土やこすり出しで、身の回りにある面白いでこぼこを写し取り、互いに紹介し合う活動を設定している。
	第3・4学年(下)	「色合いひびき合い」 小さなカードの上で、絵の具を多様な方法で混ぜ合わせ、お互いがつくったカードを見合っ て、どのような感じかを交流し合う活動を設定している。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
方法	鑑賞の対象と示し方

	学年	鑑賞の対象	示し方
開隆堂	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(まなびのしりょう)「じぶんのさくひんにだいいいをつけよう」 作品に題名をつけるためのポイントを示し、題名と共に自分や友達の作品を示している。
			〈下〉(こうさく)「かぶって へんしん」 日本や外国の祭りで使われる3種類のお面を、写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(りったい)「ねん土ランドへようこそ」 焼き物にして着色した作品を、方法を説明した文と共に写真で示している。 〈下〉(かんしょう)「絵から聞こえる音」 感じたことを形や色で表す活動につなげるために、二つの美術作品を紹介している。
日文	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(きょうかしよびじゅつかん)「すきな かたちや いろ なあに」 形や色について気付かせる文と共に、さまざまな自然物や人工物を示している。
			〈下〉(かんしょう)「ともだち 見つけた!」 自然物や人工物で顔に見える5種類の形を、写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(りったい)「切ってかき出しくっつけて」 焼き物にした作品を、「色もかわってちがったかんじになるね。」という文と共に写真で示している。 〈下〉(かんしょう)「ポーズのひみつ」 気付いたことや感じたことを伝え合うために、4点の美術作品を紹介している。
第5・6学年	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(図画工作のつながり ひろがり) 「形や色に思いをこめて」多くの人へ伝える 多くの人に分かりやすく伝わるよう視覚的な図で示された記号を紹介している。 〈下〉(かんしょう)「この筆あと、どんな空?」 筆使いや絵の具の使い方を比べるために、4点の我が国や諸外国の美術作品を紹介している。	

【図画工作】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦ 題材や資料等の配列
方法	題材数, 構成や配列

	学年	題材数	見開き題材	1ページ題材	構成や配列						
					項目						
					造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞		
開隆堂	第1・2学年〈上〉	24	14	10	4	10	3	6	1	すべて学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	25	13	12	4	11	2	7	1		
	第3・4学年〈上〉	20	18	2	2	7	2	8	1		
	第3・4学年〈下〉	20	18	2	2	7	2	8	1		
	第5・6学年〈上〉	18	16	2	2	7	2	6	1		
	第5・6学年〈下〉	18	16	2	2	7	2	6	1		
日 文	第1・2学年〈上〉	24	24	0	5	7	4	6	2	すべて学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	23	23	0	4	8	4	5	2		
	第3・4学年〈上〉	23	23	0	4	8	5	5	1		
	第3・4学年〈下〉	23	23	0	5	7	4	5	2		
	第5・6学年〈上〉	21	21	0	2	8	5	4	2		
	第5・6学年〈下〉	20	20	0	3	6	4	5	2		

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧ 作品等についての示し方の工夫
方法	作品や造形活動の示し方と具体例

	作品や造形活動の示し方	具体例
開隆堂	○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年〈下〉「すけるん たんじょう」 たくさん ひねると、ふしぎな生きものに 見えてきた。
		第3・4学年〈上〉「でこぼこさん大集合」 おいかけっこをする草原は絵の具で表しました。
		第5・6学年〈上〉「見つけて！ワイヤードリーム」 アルミはりがねをねじったり、たたいたりして形を変えていきました。空に向けて枝を広げています。
日 文	○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想(第3・4学年〈上〉以降)を示したりしている。	第1・2学年〈下〉「くしゃくしゃ ぎゅっ」 むすんだところが ちょうネクタイだよ。
		第3・4学年〈上〉「いろいろうって」 だんボールの形を組み合わせて、ツリーハウスをつくりました。半分の形でかぎあなをつくりました。かぎは一つなので、後ではりしました。
		第5・6学年〈上〉「立ち上がれ！ワイヤーアート」 くるくるした形が花のように見えました。いろいろな大きさのくるくるの花が、くねくねしたくきの先にさいています。

【図画工作】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想や構想，鑑賞の場面における言語活動の示し方，具体例

	発想や構想，鑑賞の場面における 言語活動の示し方	具体例	
開 隆 堂	○ 発想や構想，鑑賞の場面における児童の関わり合う写真と共に，対話や対話を促す文が示されている。	第 3 ・ 4 学 年 （上）	「ねん土ランドへようこそ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人できょう力したらおもしろい形ができるよ。 ・ 次は何をつくろうかな。 ・ 何をどこにおくか，みんなで考えよう。
		第 5 ・ 6 学 年 （下）	「夢の新製品」 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアに合う材料を探そう。 ・ この青い毛糸を生かせないかな。 ・ たのしい気持ちを体験できる機械だよ。 ・ どんな新製品になるの？
日 文	○ 発想や構想，鑑賞の場面における児童の関わり合う写真と共に，対話や対話を促す文が示されている。	第 3 ・ 4 学 年 （上）	「ねん土マイタウン」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと話をしながら，まちを考えよう。 ・ 友だちのまちの，どことつなげると楽しいかな。 ・ つながった友だちのまちも見にいこう。
		第 5 ・ 6 学 年 （下）	「ドリーム・プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水に関係するような形がいいね。みんなに関心をもってもらえるような形にしよう。 ・ 水を大切にしている学校がいいな。 ・ どんな材料を使うと水を表現できるかな。 ・ 作品をつかって，みんなに自分の願いをプレゼンテーションしよう。